

2019 年度

自己評価報告書

学校法人 晃陽学園

つくば栄養医療調理製菓専門学校

1 教育理念・目的・人材育成像

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	A	入学前のオープンキャンパス、説明会において教育方針を説明しており、入学時のガイダンスやオリエンテーションにおいても再度伝えている。それぞれの専門職業人としてふさわしい人間性・社会性・専門性を身につく指導を心掛けている	
② 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生、関係業界、保護者等に周知がなされているか	A	就職先、校外研修先に学校のパンフレットを送り周知している。	尚一層の周知に努めていく。
③ 学校における職業教育その他の教育指導の特色は明確か	A		
④ 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	A	現場実習や地域のボランティア、自治体との連携等により地域社会や企業のニーズを把握する努力を行っている。	外部からの意見を取り入れるとともに、内部の意見も整理して教育課程に反映させて行く。
⑤ 各学科の教育目標、人材育成像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	A		

2 学校運営

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	教育理念に基づき運営している。 職員会議等で方針を明確にしている。	
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	学校法人として、理事会・評議員会において明確な事業計画を策定し承認を得て遂行している。 各学科代表者会議で年間計画をたて全て確認しながら遂行している。	
③ 運営組織や意思決定機能は明確化されていて、有効に機能しているか	A	校務分掌で明確にし各学科代表者会議にて承認している。	
④ 人事・給与に関する規定等は整備されているか	A	就業規則により整備されている。	
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	A	決済方法を明確にし、それに則って決定している。	
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	B	職員会議等で周知している。	文書化、新人研修等、共通の内容として整備の余地がある。
⑦ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	B	ホームページ、フェイスブック等で情報を公開している。	さらに内容を充実させていく必要がある。
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	B	教務、財務など効率化のためのシステムを導入している。	さらに効果的に活用する。

3 教育活動

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	本校の教育目標に沿った教育が行われており、教員資格については、設置基準に定められているものを遵守している。 各担当講師が年間授業予定表を作成し、それに沿った授業を行っている。	他教科との連携をとり進めていく。
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	各分野において、教育課程に沿った内容を検討・指導し、専門分野のニーズを踏まえた人材育成を心がけている。	
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A		
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	就職指導、校外研修等でいただいた意見を各学科がそれぞれ積極的に取り入れている。	今後は組織的に意見を取り入れていく体制を整える。
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	B		
⑥ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	B		
⑦ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A	各学科カリキュラムに組み込み体系的に実施している。	

⑧ 授業評価の実施・評価体制があるか	A	各期ごとに授業アンケートを実施し、その評価をもとに授業の改善を図っている	
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	単位取得、進級判定の基準に沿って進級・卒業判定会議において審議している。単位未修得になり得る可能性のある学生には、本人への指導・面談及び保護者への状況連絡も行っている。	
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A	各分野の資格取得に向けて、対策授業等の体制を整え、指導に取り組んでいる。	
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A	それぞれの専門分野の職員を配置している。実習及び学科を指導する職員も外部講師も含め有資格で経験豊富な方を配置している。	
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員の確保に努めているか	A	各業界と連携し専門性の高い講師を派遣してもらう体制が整っている。	
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	A	自己啓発を促し、学会、外部講習会を時間が許す限り推奨している。また研修を通して教員の視野を広げるとともに、それを、本校学生へ指導を通して還元できるよう努めている。	

4 学生指導（私立専門学校等評価研究機構に記載有）

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 基本的な生活習慣の確立のための取組みが行われているか	A	日頃から積極的に指導徹底している。心配のある学生には、改善につながるよう一時的でなく継続的に指導している。	
② 学生・保護者からの相談体制が整備されているか	A	日々、学生の状況を把握し、こまめに声掛けする等相談しやすい環境を整えている。問題があれば保護者にも連絡できる体制を整備している。	
③ 通学・就職指導にかかる支援体制は組まれているか	A	近隣の駐車場の確保や学生会館を設置し、遠方からの学生の通学に便宜を図っている。学生に求人を公開し個別に就職指導をしている。	
④ 学生の安全管理のための取組等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある学生等への支援など）が行われているか	B	各分野に合わせた保険に加入する等、取組みを行っている。	今後は心理面や障害のある学生への対応について取組みを進める。

5 学修成果

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 就職率の向上が図られているか	A	進路選択については入学前のオープンキャンパス等から説明し、意識と理解を深め、仕事内容だけでなく業態、企業理念なども考えさせ、本人の意思を尊重する職種に付けるよう面談を繰り返し指導をし就職率の向上を図っている。	指向上に対してのセミナー等、参加を積極的に推進する。
② 資格取得率の向上が図られているか	A	各国家資格取得のため、日々の授業を中心に、対策授業を含めた指導を行っている。	
③ 退学率の低減が図られているか	B	遅刻、欠席の学生にはその都度担任より声掛けをしている。常に状況を把握し必要に応じて個別面談、保護者面談を実施し退学率低減に努めている。	入学前のオープンキャンパスや学校見学を充実させ学校情報をできる限り開示し、入学後の学生の気持ちに差異が生じないように努める。
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	A	行事以外にも卒業生後に来校することがとても多く、いろいろな状況もうかがえる。また、相談にもものっている。	担当者ごとの把握にとどまらずキャリア形成への評価・効果を教員間で情報共有し、より教育活動を強化していく。
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	各企業で活躍している卒業生が来校した際には、在校生に先輩として仕事のやりがいなどを話す場を設けている。	

6 学生支援

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	A	入学時から就職を視野に入れ、職種も含めた説明も行っている。卒業年度には新学期から面談を開始し、担当職員と随時相談する体制をとっている。校内で企業説明会を実施している。	
② 学生相談に関する体制は整備されているか	A	相談しやすい環境づくりに努めている。	
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	A	独自の奨学金制度はないが、オープンキャンパス等で公的な奨学金制度を紹介している。また、学費納入の相談は随時受付が出来る体制をとっており、各家庭の経済状況に合わせて期間を延長しての納入や分割納入を相談・届出のうえで許可している。	
④ 学生の生活環境への支援は行われているか	A	就職活動と同様、アルバイトも学校を通じて紹介している。 入学説明会時にアパート、駐車場情報なども学生に伝えている。学生会館を設置している。 昼食は給食により適切な食生活を提供している。	
⑤ 学生の健康管理を担う組織体制があるか	A	年度初めに健康診断を行っている。再検査や要診断と判断された学生には受診をすすめている。 分野ごとに予防接種や、細菌検査を実施している。	

⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	コンテストや検定試験に向けての指導、ボランティア活動への参加支援を行っている。	
⑦ 卒業生への支援体制があるか	A	再就職を希望する卒業生には紹介も含め就職や国家試験対策等、相談にのり今後の活躍につながるよう支援している。	卒業生からの意見聞きながら、支援体制を整え、より一層フォローに努める
⑧ 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	C	文科省の委託を受け作成中ではあるが、その他、卒業生からの意見を取り入れていけるよう検討中	文科省の委託を受け、再教育プログラムを開発中。
⑨ 保護者と適切に連携しているか	A	学校行事に足を運んでくれる保護者はとても多いと感じている。 一人暮らしの際には体調不良等で心配な際には連絡をするよう努めている。	
⑩ 社会人入学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	B	社会人入学生を積極的に受け入れており退学者も少ない。	社会人入学生のニーズの把握に努める。
⑪ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	A	高校からの依頼を受け講師派遣やインターンシップなど積極的に受け入れている。	

7 教育環境

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	A	施設・設備は設置基準に準じている。 教育上必要な配慮をしている。	必要に応じて順次更新していく。
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	A	校内外の実習施設において引き続き管理を適切にし、体制を整えていく。	
③ 防災に対する体制は整備されているか	B	防災マニュアルを作成し、毎年学生に対して防災訓練を実施しているが、 防災マップ等も取り入れて周知していきたい	災害時以外も含めて、教職員の意識をさらに高め、学生への周知徹底するよう努める

8 学生の受入れ募集

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	A	各高等学校で行われる進路ガイダンスへの参加、広報職員の高校訪問を通して、学校説明や在籍している学生の状況を報告。学校の情報を正確に提供するように努めている。	
② 学生募集活動は適正に行われているか	B	学生募集活動においては、正確に学校や学科の特徴、取得資格、就職状況を説明し、ミスマッチなく進路として選択をしてもらえるよう努め	今後、少子化に向けて、社会人や外国人受け入れに対してもさらに配慮していく

③ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報が正確に伝えられているか	A	ている。また、学校ホームページおよびパンフレットにも最新の実績を掲載し、誇張すること無く募集活動を行うよう配慮をしている。	
④ 学生納付金は妥当なものとなっているか	A	学生納付金は学則に則り募集要項に記載・徴収している。教材費や行事費等の実費についても、オープンキャンパス等で納入期日やおおよその金額を公表し、徴収時には明細を添付している。	

9 財務

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	A	予算に基づく適切な収支バランスを保持している。 今後の18歳人口の減少などに対応する入学者確保に努めていく。	
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	新年度が始まる前に予算・収支計画を作成し、理事会・評議員会で承認を得ている。	
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	A		
④ 財務情報公開の体制準備はできているか	A		

10 法令等の遵守

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	法令を遵守し運営にあたっている。	
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B	パソコンの個人情報はセキュリティーのかかったサーバーで保管、管理している。 書類については鍵のかかるキャビネットに保管している。	個人情報に関する危機管理の見直しを行っていく。
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	B	今年度より学校関係者評価委員会を立ち上げ実施している。	
④ 自己評価結果を公開しているか	C	公開していない。	今年度より公開する準備をすすめている。

11 社会貢献・地域貢献

A:適切・B:ほぼ適切・C:やや不適切・D:不適切・E:該当なし

自己評価項目	現状の認識および評価		課題と今後の改善策
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	地域社会と連携をとりながら社会貢献・地域貢献に積極的に取り組んでいる。	
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	B	地域のイベントなどでは専門分野を活かした学生ボランティアの活動支援をしている。	
③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	地域住民に対する公開講座や委託授業を積極的に行っている。	

2019 年度

学校関係者評価報告書

学校法人 晃陽学園

つくば栄養医療調理製菓専門学校

学校法人 晃陽学園 つくば栄養医療調理製菓専門学校は、自己評価報告書に基づき、以下の通り学校関係者評価委員会を実施致しました。

1. 開催概要

日 程 2020年1月28日(火) 14:00~16:00

場 所 つくば栄養医療調理製菓専門学校 新館 1F 会議室

2. 学校関係者評価委員 出席者

氏名(所属)	選任理由
新宮 昭司(稲敷広域消防本部)	企業・関係団体
村山 正利(公益社団法人 茨城県獣医師会)	企業・関係団体
箱崎 せつ子	在校生保護者
石川 幸子	在校生保護者
大貫 瞬汰(大洗町消防勤務)	卒業生
森 恵子(社会福祉法人 東雲会 小貝保育園勤務)	卒業生
黒田 真由子(株式会社筑波学園ホテル勤務)	卒業生

3. 本校職員

氏名(役職)	氏名(役職)
今井 恭子(校長)	赤星 康彦(副校長)
川島 邦子(副校長)	斎藤 達也(専門調理師・調理師学科長)
山本 勝也(事務長)	江口 千佳(総務課長)
丸尾 佳代子(教務課長)	伊藤 順子(教務事務員)

4. 学校関係者評価委員からの意見、提言等

自己評価項目	意見、提言等
1 教育理念・目的・人材育成像	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のニーズや業界のニーズに応えていくためには、外部から見てそれらのニーズを踏まえた教育等を行っていることが理解されることも大事だと思う。また、従来の現場実習先の評価や学生本人の意見など、内部の意見も整理していくことが、さらに社会のニーズとして受け入れられることにもつながるのではないかな。
2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、提言は特になく、適正と判断する
3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・通常のカリキュラム以外の取り組みも多く、職員も一生懸命、積極的に取り組んでいるので、それらの活動状況をアピールしても良いのではないかな。
4 学生指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの学生に対してサポートがあるとありがたい。 ・コミュニケーションがとれないと仕事が続かない。学校の方針としてあいさつに力を入れているのは良いが、もっと学生に浸透させてほしい。
5 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、提言は特になく、適正と判断する
6 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験に不合格だった学生に対してどのようにフォローしているのか。 (⇒卒業後も引き続き連絡を取りサポートしている旨を説明) ・栄養士学科卒業後、管理栄養士の受験に向けて学校でサポートする体制があれば、受験者が増えると思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の再教育について、現状でも熱心に実施していると感じられるが、対外的にしっかり公表できるよう、プログラムとして調整しては如何か。 ・卒業生も学校をもっと良くしたいと思っているので、ぜひ卒業生の声をもっと学校の成長に役立ててほしい。
7 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の所在する地域に住んでいないため、地域の地理やその他の状況に不案内の学生も多い。どこに住んでいる子でも学校近隣のどこが安全で、緊急時に何をすべきか簡単に理解できるような、見てすぐに分かるようなものを作ってほしい。通学パターン分けがあるとなお良い。
8 学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の定数の維持は、教育、その他の面から考えても重要なことである。今後、社会人の問題、少子化の問題、外国人対策をどう検討していくのか。茨城県土浦産業技術専門学院からの委託を受けて離職者訓練をされているが、そういうものを含めて総合的に対応して人数を増やしていくことを検討してはどうか。社会人に向けても学校のカラーが見えてくるように、例えば新卒と社会人が一緒に学ぶことで良い刺激があり相乗効果が出ることなど、学校の特色をもう少し具体的な文言にして募集をするような検討を試みてはどうか。
9 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、提言は特になく、適正と判断する
10 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、提言は特になく、適正と判断する

以上、頂いたご意見をもとに、内容の改善、より一層の教育を行い、今後の学校運営に努めてまいります。